

PROFILE



トロイ・グーギンズ

Troy A. Googins — Violin

アメリカ・コロラド州出身の日系3世。1987年、クリーブランド音楽大学大学院卒業。同年、山形交響楽団の招待演奏家として来日。1989年よりオーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）第1ヴァイオリン奏者となる。

来日以降、日米両方の特徴を持つキャラクターが人気を博し、OEKを通じて音楽の楽しさを多くの人々に伝える役目を担っている。

OEKの活動に自身の小編成のサロンコンサートなどを含めると、年間130回以上の本番コンサートをこなしており、その演奏技術の高さには定評がある。

一方、「音楽家である前に一人の人間として何か自分にできることをしたい」という思いをモットーとし、積極的に地域の子どもたちをはじめ幅広い世代への音楽会を開催。また後進の指導などにも意欲的に取り組んでいる。



加藤 純子

Junko Kato — Harpsichord

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。オーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）メサイア公演・オペラ公演・定期公演にて、チェンバロ（通奏低音）での参加、ラ・フォル・ジュルネ金沢、風と緑の楽都音楽祭など県立音楽堂主催公演に参加。2008年より金沢蓄音機館に於けるクリスマス・バロックシリーズに参加、2013年よりチェンバロリサイタル「フランス宮廷音楽シリーズ」を開催。古楽ユニット「古からの手紙」「音楽の捧げもの」「バロック・アンサンブル Op.1 Passinone」のコンサートを開催している。

その他、金沢文芸館にて「バロック×文学」コラボコンサート、ソロ・伴奏・室内楽、オペラ・コレペティ等、ピアノのみならず、チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコードといった古楽鍵盤楽器演奏へと県内外で活動を広げている。